

桜ーコブクロ

名^なもない花^{はな}には_____を^つ付けましょう

この世^よに_____しかない

冬^{ふゆ}の寒^{さむ}さに打^うちひしがれないように

_____か^{こえ}の声^{こゑ}でまた起^おき上^あがれるよう
に

土^{つち}の中^{なか}で眠^{ねむ}る命^{いのち}のかたまり

アスファルト押^おしのけて

会^あうた^びにいつも 会^あえない時^{とき}の寂^{さび}し
さ

分^わけあう_____太^{たい}陽^{よう}と月^{つき}のよう^{よう}で

実^みのならない花^{はな}も 雷^{つぼみ}のま^ま散^ちる花^{はな}
も

_____と誰^{だれ}かのこれ^{これ}から^{から}を

春^{はる}の風^{かぜ}を浴^あびて見^みてる

桜^{さくら}の花^{はな}びら散^ちるた^たびに

届^{とど}かぬ思^{おも}いがまた一^{ひと}つ

涙^{なみだ}と笑^{えが}顔^おに消^けされてく

そしてまた_____にな^なった

追^おいかけるだ^{かな}けの悲^{かな}しみは

強^{つよ}く清^{きよ}らかな悲^{かな}しみは

_____ま^かでも変^なわるこ^なとの無^ない

無^なくさないで 君^{きみ}の中^{なか}に 咲^さく

Love...

街^{まち}の中^{なか}見^みか^みけた君^{きみ}は寂^{さび}しげに

人^{ひと}ごみに紛^{まぎ}れてた

あ^{ころ}の頃^{ころ}の 澄^すんだ瞳^{ひとみ}の奥^{おく}の輝^{かがや}き

時^{とき}の速^{はや}さに汚^{よご}されてしま^{しま}わぬよう^{よう}に

_____も話^{はな}さないで 言^{こと}ば^ばにならない
はず^さ

流^{なが}した涙^{なみだ}は雨^{あめ}となり 僕^{ぼく}の心^{こころ}の傷^{きず}い
やす

_____はみ^{こころ}な 心^{こころ}の岸^{きし}辺^べに

手^て放^{はな}したくない花^{はな}がある

それはた^{はな}くましい花^{はな}_____

夢^{はかな}く揺^ゆれる 一^{いち}輪^{りん}花^か

花^{はな}びらの数^{かず}と同^{おな}じだけ

生^いきていく強^{つよ}さを感^{かん}じる

嵐^{あらし} 吹^ふく 風^{かぜ}に打^うたれても

_____雨^{あめ}は無^ないはずと

桜^{さくら}の花^{はな}びら散^ちるた^たびに

届^{とど}かぬ思^{おも}いがまた一^{ひと}つ

涙^{なみだ}と笑^{えが}顔^おに消^けされてく

そしてまた大^{おとな}人^{ひと}にな^なった

追^おいかけるだ^{かな}けの悲^{かな}しみは

強^{つよ}く清^{きよ}らかな悲^{かな}しみは

いつま^なでも変^なわるこ^なとの無^ない

君^{きみ}の中^{なか}に 僕^{ぼく}の中^{なか}に 咲^さく Love...

名^なもない花^{はな}には名^な前^{まえ}を付^つけましょ^う

この世に一つしかない

冬の寒さに打ちひしがれないように

誰かの声でまた起き上がれるように

語彙リスト

1. この世に: neste mundo

2. さむい・さむさ: frio

3. 声: voz

4. 眠る: adormecer

5. 命: vida

6. 会う: encontrar-se

7. さびしい/寂しさ: sozinho,
solidão

8. 太陽: sol

9. 実: fruto

10. 蕾: botão de flor

11. 届く/届ける: receber, chegar

12. 思い: sentimento

13. 涙: lágrima

14. 笑顔: sorriso

15. 大人: adulto

16. 追いかける: ir atrás, aspirar a

17. 清らか: puro

18. 町/街: cidade

19. 流す: escorrer

20. 汚す: sujar

21. 傷: ferida

22. たくましい: robusto, resolutivo,
invencível

23. 生きる: viver

24. 風: vento

25. 吹く: soprar

26. やむ: cessar

27. 雨: chuva

28. 儚い: efêmero

29. 揺れる: vibrar, balançar, tremer

答え

名もない花には名前を付けましょう
この世に一つしかない

冬の寒さに打ちひしがれないように
誰かの声でまた起き上がれるように

土の中で眠る命のかたまり
アスファルト押しのけて

会うたびにいつも 会えない時の寂しさ
分けあう二人 太陽と月のようで

実のならない花も 蕾のまま散る花も
あなたと誰かのこれからを

春の風を浴びて見てる

桜の花びら散るたびに
届かぬ思いがまた一つ
涙と笑顔に消されてく
そしてまた大人になった
追いかけるだけの悲しみは
強く清らかな悲しみは

いつまでも変わることの無い
無くさないで 君の中に 咲く Love...

街の中見かけた君は寂しげに
人ごみに紛れてた
あの頃の 澄んだ瞳の奥の輝き

時の速さに汚されてしまわぬように
何も話さないで 言葉にならないはずさ
流した涙は雨となり 僕の心の傷いやす
人はみな 心の岸边に
手放したくない花がある

それはたくましい花じゃなく
儚く揺れる 一輪花

花びらの数と同じだけ
生きていく強さを感じる
嵐 吹く 風に打たれても
やまない雨は無いはずと

桜の花びら散るたびに
届かぬ思いがまた一つ
涙と笑顔に消されてく
そしてまた大人になった
追いかけるだけの悲しみは
強く清らかな悲しみは
いつまでも変わることの無い
君の中に 僕の中に 咲く Love...

名もない花には名前を付けましょう
この世に一つしかない
冬の寒さに打ちひしがれないように
誰かの声でまた起き上がれるように